

社協だより

2014.12.25

75号

栗石町社会福祉協議会

チャリティー

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

みんなが笑顔になるように!!



もくじ

- ◆地域福祉活動計画策定に係るワークショップ 2～3 P
- ◆第67回岩手県社会福祉大会 4～5 P
- ◆災害時相互支援協定締結調印式 5 P
- ◆平成26年度赤い羽根共同募金運動報告 6 P
- ◆平成26年度歳末助け合いチャリティーショー 6 P
- ◆西山保育園だよりVOL.13 ... 7 P
- ◆まちの福祉 8～9 P
- ◆お知らせ 10 P

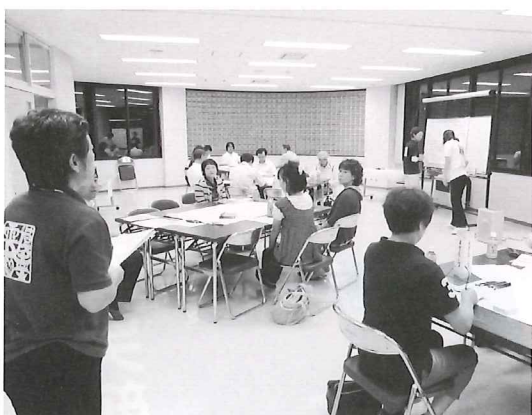
11月30日に開催されたチャリティーショーに出演したヒツ森保育所園児の元気な、お遊戯の様子です。詳しくは、6 Pをご覧ください。

地域福祉活動計画策定に係るワークショップを開催しました

雫石町社会福祉協議会（以下、「町社協」）では、例年、町内を10地区に分け、地域福祉懇談会を実施しておりましたが、今年度は平成27年度からの9年間を見通した、福祉のまちづくりの基本的な方針となる「第二次町社協地域福祉活動計画」の策定をするにあたり、9月2日から5日までの4日間、町内を4地区に分けて、「町社協地域福祉活動計画策定に係るワークショップ」を開催しました。

課題を発掘・共有化して、その課題解決を住民と共に図っていくことです。こうした中で、社協がその使命や役割を果たすために必要な羅針盤といえるものが『地域福祉活動計画』です。

今回のワークショップでは、地域福祉活動計画策定に向けて、地域住民が感じている地域の課題や地域にある資源・宝物について、多くの意見を頂戴しましたので紙面にて、紹介させていただきます。



雫石地区の様子 ワークショップ開催

- ## 1 人に関すること
- ①子ども
 - ・子どもの数が年々減少していることから、保護者同士の繋がりが以前より少ない。
 - ・学校までの子どもの送迎が増え、登下校時の交流が減少し、挨拶ができない子どもが増えている。
 - ・一人親への支援援助が必要となってきた。
 - ②高齢者
 - ・高齢者の数が、年々増加しており、加えて一人暮らし高齢者の数も増加している。中には、日中独居の世帯も増加している。
 - ・高齢者の見守りの問題や災害時の支援・避難誘導などの問題も検討が必要である。
 - ・高齢者世帯の増加に伴う、老々介護の負担も増えている。
 - ・要介護認定を受けられない高齢者に対する支援も検討が必要である。
 - ③青年
 - ・青年の数が減少し、青年同士の繋がりが作れない。
 - ・後継者のなり手が不足している。
 - ・未婚者が増加している。
 - ④地域
 - ・地域全体で人間関係が希薄化し、行事への参加者が減少している。
 - ・自治会活動継続に不安を感じている。
 - ・行事ごとに、酒が付き物となっている。



御所地区での活動の様子 ただいま、課題の抽出中！

- ・転入者に対して地域が冷たい。
- ⑤その他
 - ・全般的に人への感情が薄れてきており、近所でもどのように声をかけていいかわからないという人も増えてきた。中には、近所と全く付き合いのない人もある。
 - ・家族の時間が無くなってきた。
- 2 施設整備等に関すること
 - ①子ども
 - ・各地区から見ると、中学校までの距離が遠い。
 - ・校舎が雨漏りをする等、公共設備の老朽化が進行している。
 - ・家の近くに、子ども達が集まって遊べる公園等がない。

- ②高齢者
 - ・交通手段の減少から買い物への負担が増加している。
 - ・介護施設への入所が困難になってきた。
 - ・高齢者の楽しむ場所、機会が少ない。
- ③青年
 - ・町内での就業場所がなく、若者が遊べる施設もない。
- ④地域
 - ・病院数の減少や診療所の開所日が少ない。
 - ・町内の空き店舗が多くなっている。
 - ・雪の捨て場所がない。
 - ⑤道路・交通
 - ・公共道の管理が不十分である。
 - ・融雪剤の散布が多量である。
 - ・車がないと生活ができない。
 - ・デマンドタクシーの停留所が少なく、またそこまでの距離も遠い。
 - ・道路へのポイ捨てが多い。
- 3 その他
 - ・介護保険サービスの利用料負担が増加している。
 - ・消費税増加も関係した物価の高騰が問題となっている。
 - ・野生動物の増加やマイマイガ等の害虫の増加。
 - ・地域コミュニティが成立しない地域における、空き家・ゴミ屋敷問題の増加。
 - ・名産、ブランドがないことから関係し、観光客の減少がみられる。
 - ・様々な支援があってもまとまりがない。



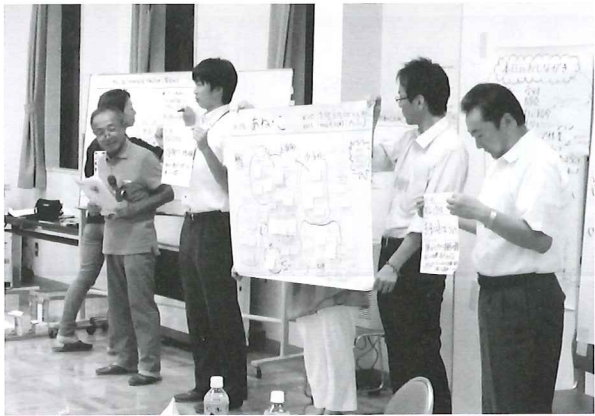
御明神地区での活動の様子 意見の集約中！

ワークショップで出た地域の宝物

- ## 1 人に関すること
- ①子ども
 - ・交差点を渡る時お礼をする等、素直な子どもの姿が見られる。
 - ・ボランティア活動への意識が高い。
 - ・老人クラブとの繋がりが強い。
 - ②高齢者
 - ・元気な高齢者が多く、子ども達を見守っている。
 - ・料理や仕事の経験等から技術を持っている方が多くいる。
 - ・子ども会との繋がりが強い。
 - ③地域
 - ・地域の絆が強く、近所の付き合いがしやすい。

- ## 2 環境に関すること
- ①自然
 - ・助け合いの精神があり、地域の協力体制ができています。
 - ・昨年の災害時、協力する人が多かった。
 - ②その他
 - ・漫画家・芸術家等いろいろな職種の方々がいる。
 - ・行事の参加率が良い。
 - ・子ども達のために協力的な保護者が多い。

- ③施設、サービス
 - ・子どもと一緒に遊べる施設がある。
 - ・託児や学童保育等、子育て環境が揃っている。
 - ・介護施設や介護サービスが充実している。
 - ・美味しいお店がたくさんある。
 - ④イベント、文化
 - ・伝統芸能や文化活動等の活動が盛ん。
 - ・軽トラ市等の行事のイベント力がある。
- ④地域
 - ・地域コミュニティを始めとした地域のまとまりが強い。
 - ・静かで住みやすい環境。
 - ・他県、他市に近い。
 - ・地域によって特徴がある。



西山地区での活動の様子 グループでの発表会

まとめ

- ## 3 交通に関すること
- ・低賃金で利用できるデマンドタクシーがあり、交通が充実している。
 - ・道路網が整備されている。
- 今回、皆さんから出して頂いた地域の課題と宝物は、お互いに表裏一体であることが伺われます。
- 今後、前述したご意見を基に、町民福祉の活動計画を策定していくため、策定委員会・審議会を開催します。

第六十七回岩手県社会福祉大会

共に生き、共に支える福祉社会の実現を目指して

平成26年11月11日（火）第67回岩手県社会福祉大会が岩手県民会館で開催されました。

当町からは、「岩手県知事表彰」1名「岩手県社会福祉大会長表彰」6名、「岩手県社会福祉大会長褒賞」3名、「岩手県民生委員児童委員協議会長表彰」7名の方々が受賞されました。

式典後、大沢 勝氏より「『今』を懸命に生ききる」とあわせて、あせらず、あきらめず」と題して、記念講演が行われました。

講演後、受賞者ならびに社会福祉関係者が、誰もが安心して暮らすことができる



福祉社会の実現に向けて、関係者が心を一つにして、更なる研鑽を積むことを誓い合い閉会しました。

受賞おめでとうございます

岩手県知事表彰

（社会奉仕功労者） 1名



川村 貢 氏
（黒沢川）

川村氏は、平成5年に高齢者世帯でも不便や不安のない生活を送ってもらいたいと考え、雪かきをするボランティアとして、雪石町スノーバスターズを立ち上げ、会長として、現在も現役で活動を行っている。

また、高齢者の生きがいづくりや社会参加促進の取り組みとして、黒沢川老人クラブ会長や、雪石町シルバー人材センターの立ち上げ等、献身的に取り組んでいる功績により、岩手県知事より表彰を受賞しました。

岩手県社会福祉大会長表彰

（社会福祉事業功労者） 1名



佐々木 正志 氏
（上町3）

佐々木氏は、平成16年から現在に至るまで、雪石町老人クラブ連合会長として、当町社会福祉協議会の理事に就任し、地域福祉の増進に努めてきた。

他にも、雪石町芸術文化協会会長、雪石町グラウンドゴルフ協会会長として活動を行っている功績により、岩手県社会福祉大会長より表彰を受賞しました。

岩手県社会福祉大会長褒賞

（在宅介護者） 3名

多年にわたり、献身的に家族の介護を行ってきた労に対し、褒章を受賞しました。



横欠 恵美子 氏
（横欠）



山津田美加子 氏
（安栖）



金沢 テツ 氏
（片子沢）

岩手県社会福祉大会長表彰 （民生委員・児童委員） 5名

多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進による功績により、表彰を受賞しました。



櫻田 政治氏
（駒木野）



新里 榮弘氏
（上春木場）



谷地アサ子氏
（雫石谷地）



上野真由美氏
（駅前）



浦田美保子氏
（林崎）

岩手県民生委員児童委員協議会長表彰 （永年勤続民生委員・児童委員） 7名

平成25年11月30日において、在任期間が通算12年を迎えられた方々が受賞されました。



前列右から
・沼尻 洋一 氏（黒沢）
・根澤 早苗 氏（片子沢）
・桐山 貞夫 氏（七区）
後列右から
・小松 郁人 氏（盆花）
・大橋 馨 氏（土橋）
・町場 洋一 氏（和野）
・菊池 文彦 氏（板橋）

昨年の夏の課題を繰り返さないために！

～県央地区社協災害時相互支援協定締結調印式～

災害時相互支援協定とは…

1 目的

この協定は、県央地区社協の管内において発生した災害に対して、被災地の社協単独では、災害救援活動が十分に実施できない場合において、協定に加盟した市町社協が相互支援を行うことを目的とする。

2 対象となる災害

対象とする災害は、地震、噴火、豪雨、洪水、豪雪等の災害が発生し、住民生活に甚大な支障が生じ、救援を必要とする場合とする。

3 相互支援の内容

各被災地社協に対して、応援職員の出遣や災害救援活動を行うために必要な備品、資機材の提供及び斡旋を行う。

応援職員の行う支援活動は、災害ボランティアセンターの設置及び運営に対する支援、災害救援活動を行うために必要な情報収集を行うものとする。

災害時相互支援協定を締結し、加盟した市町は以下のとおりです。

- ・盛岡市社会福祉協議会
- ・八幡平市社会福祉協議会
- ・滝沢市社会福祉協議会
- ・雫石町社会福祉協議会
- ・葛巻町社会福祉協議会
- ・岩手町社会福祉協議会
- ・紫波町社会福祉協議会
- ・矢巾町社会福祉協議会

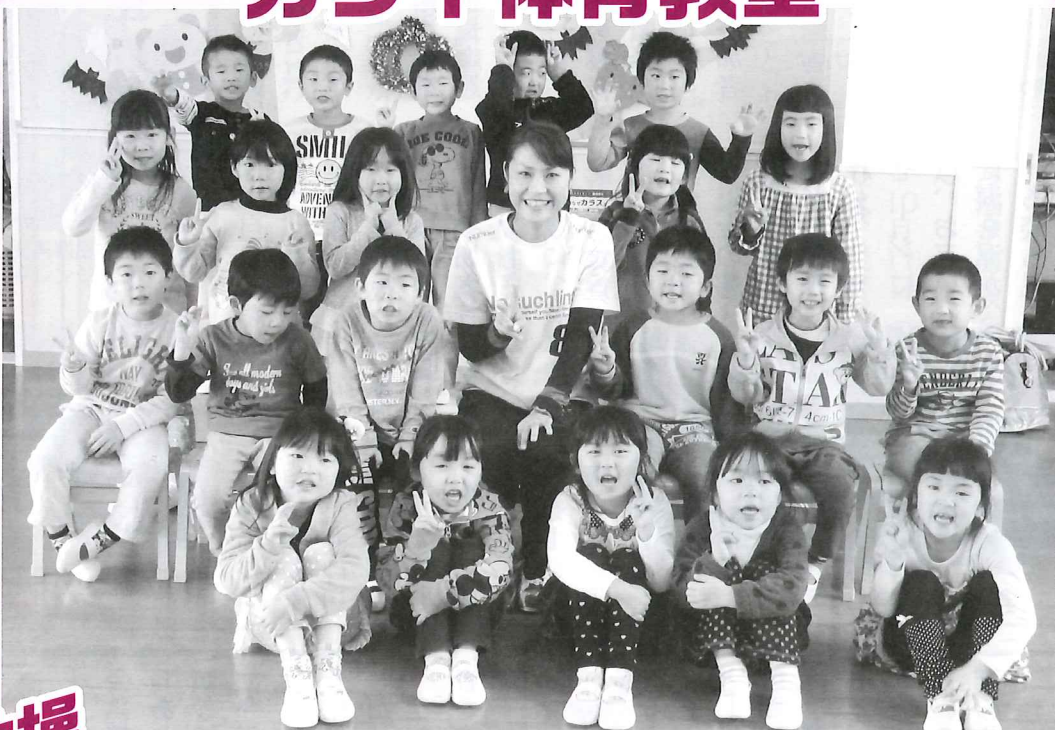
災害時相互支援協定締結調印式



お互いに支え合うことを誓う

今年4月から月1回、体育教室を始めました。子どもたちはよくお話を聞きながら、鉄棒やマット運動、とび箱などにチャレンジしています。運動機能の発達を促すために、子どもたちと一緒に保育士もたくさん体を動かし楽しんでます。いろいろなことができるようになるためのコツを教えてくださいながら、技術的なことを学び、普段の活動の中にも取り入れ、練習しています。

カワイ体育教室



組体操

～運動会で披露し、好評でした！～



舟～胸を張って！



ブリッジができるようになったよ！



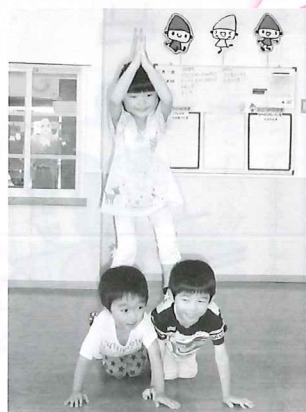
2段ベッド～腕の筋肉が鍛えられています！



扇～きれいに開きました♪



木馬～チーム「支え合い」



ロケット発射準備
3・2・1・・・

平成26年度赤い羽根共同募金運動 報告

平成26年度赤い羽根共同募金
法人等募金実績 (単位:円)

法人名	金額
雲石町役場職員一同 様	41,323円
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
雲石プリンスホテル 様	5,000円
新岩手農業協同組合雲石支所 様	5,000円
仙建工業(株) 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
松ぼっくり 様	5,000円
ホテル加賀助 様	5,000円
長栄館 様	3,000円
雲石タクシー(有) 様	3,000円
ホテル森の風鶴宿職員 様	2,177円
合 計	124,500円

～自分の町を良くするしくみ～

総額 **2,437,776円**

(平成26年11月30日現在)

74 行政区 ・ 4,631 世帯

10月1日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開しております。今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。また、町内の企業等からも、たくさん募金を頂戴しております。お寄せいただいた赤い羽根共同募金は全額、岩手県共同募金会へ送金され、より住み良い町づくりに役立つように、次年度社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。たくさんのご協力本当にありがとうございます。また、現在皆様よりご協力をお願いしております、歳末助け合い募金運動の結果につきましては、次号の社協だより内にてご報告いたします。皆様のあたたかい気持ちに深く感謝申し上げます。



役場職員による心からのメッセージ



恒例となった!?
劇団社協による大きなおどろき2014



会場募金の様子～たくさんの募金
が手渡されました。

11月30日(日)雲石町中央公民館にて、『平成26年度歳末助け合いチャリティーショー』が開催されました。早朝から多くの来場者が、寒い中入口に長蛇の列を作り、開場を心待ちにして下さいました。開場後、あつという間にホール内の座席は、埋めつくされました。

今回のチャリティーショーには、七ッ森保育所・西山保育園の園児のかわいらしいお遊戯の発表や雲石町で初となる「エスメラルダ」の方々の観客を魅了するベリーダンスの発表が行われました。恒例となった中川愛子社中の笑いあり、涙ありの楽しい歌謡ショーが行われ、愛子おばちゃんこと中川愛子さんの登場に、観客からは、待ってましたといわんばかりの歓声が上がりました。他にも出演いただいた町内の団体による演芸は、どの発表も観客に笑顔と元気を与え、終始会場には笑い声が響いておりました。

みんなですさみあう あったかい地域づくり
～平成二十六年歳末助け合いチャリティーショー開催～



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

報

二人の五十年間の歩みをお祝いしました

～平成二十六年度栗石町合同金婚式開催～

11月22日（土）に、栗石町で2回目となる、合同金婚式が開催され、結婚50年以上となる7組のご夫婦が参加されました。

アトラクションでは、結婚当初を思い出していたことと、上長山無形文化財振興会の皆様による『花嫁道中』を行いました。長持ちの後に、花嫁が入場し、嫁方のタンスを渡す唄、それを受け取る唄、道中唄等が披露されました。

この花嫁道中を見ている参加者



再現した花嫁道中の姿に、当時を思い出す参加者

※この事業には、町民の皆様からご協力いただいた社協会費が充てられています。

は、自分の結婚のことを思い出しながら、しみじみと当時を思いだしている様子でした。

御明神保育所園児からは、元気いっぱいのお遊戯と手作りのメダルが、参加された皆さん一人一人にプレゼントされました。

最後に、お互いへのメッセージが記念の写真とともに上映されました。参加者の皆様の50年以上の結婚生活の重みを感じられるメッセージには、お互いに涙を浮かべる姿も見られました。



金婚式に参加された皆様

報

期待してくれる皆さんのために

～一人暮らし老人昼食会～

11月20日（木）町内の75歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした昼食会「鶴の会」が、「道の駅しづくいしあねっこ」で開催され、27名の方々が参加されました。

今年も「男厨会」の方々が早朝から、あたたかい心のこもったお弁当を作り、参加者の皆様に届けられました。

昼食会場では、「男厨会」と参加者の方との交流が行われました。参



喜んで食べてくれるその顔が頑張る源!!

※この事業には、町民の皆様からご協力いただいた社協会費が充てられています。

相

栗石町福祉の就職説明会を開催しました

11月8日（土）、社会福祉協議会として、県内で初となった、福祉の就職説明会を開催し、町内の福祉関係事業所9社が、説明会に参加しました。

当日は、町内外から就職活動をしている方々が参加し、気になる事業所の説明を受けていました。

今回参加された事業所からは、「来年度も継続して開催して欲しい。」来場者からは、「町内の各事業所の説明を聞くことが出来てよ



かった。」との感想をいただき、来年度も継続して開催していきたいと思っています。

ポ

災害に対する知識を学ぶ

～栗石町災害ボランティア講習会～

社協だより第74号で紹介しました、標記講習会について、8～10月に開催した内容を、お知らせいたします。

8月9日（土）第2回目の講習会では、昨年の水害を振り返るとともに、災害ボランティア活動における安全管理や水害への備えについての講義が行われました。実技としては、土嚢のつくり方から高圧洗浄機の使い方など、災害時に使える資機材の紹介や体験学習が行われました。

9月13日（土）第3回目の講習会では、災害ボランティア活動の経験がある方を対象とした、実技講習が行われました。講師による、チェーンソーの模範技や床板のはがし方等、安全な活動方法・資機材の使用



2回目：一人でも作れる土嚢作りの訓練!!



3回目：木材を再利用するための床板はがしチャレンジ



4回目：グループワークの様子

方法が体験を通して説明されました。

10月11日（土）第4回目の講習会では、災害ボランティア運営編として、災害ボランティアセンターの役割や住民のニーズの把握の方法等について、過去の災害ボランティア活動の実体験を基に講義が行われました。また、災害時の対応について、各々の視点から考えるグループワークを行い、グループごとに対策を考える時間となりました。

今回の講習会全日程を通して、災害に対する考え方や自分にもできることがわかったと参加者の方からお話をいただきました。災害に強い町栗石になれるよう、今後も講習会等計画していきたいと思えます。

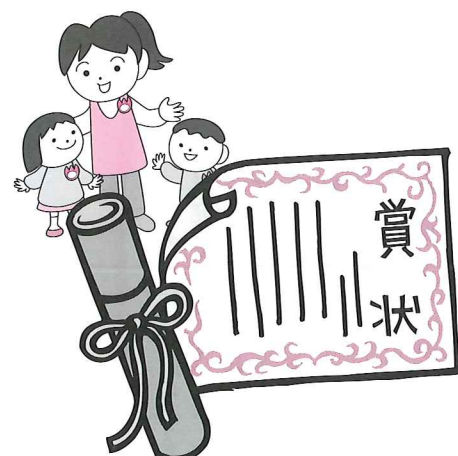
報

岩手県食育推進貢献者表彰受賞!!

～西山保育園活動報告～

11月16日（日）、岩手県食育推進県民大会にて、当社会福祉協議会で運営している西山保育園が「岩手県食育推進貢献者表彰」を受賞しました。

西山保育園では、平成10年から、「食」に関する興味・関心を育てることをねらいとして、食育活動を行っています。毎月、食育集会を実施し、食に関する知識や関心を広げ、保護者へのアンケートを基に、効果



の検証を行ってきました。その取り組みが評価され、今大会にて表彰を受けました。

報

ほれ、はいってける!!

～栗石町老人クラブ連合会輪投げ大会～

12月2日（火）栗石町営体育館を会場に町内の老人クラブ会員が一堂に会し、町老連主催の輪投げ大会が開催され、計47チームによる熱戦が繰り広げられました。

当日は、大雪が降り積もり、寒さの厳しい中での大会となりました。



この輪はどこに入るのかな!!

だが、参加者一同、元氣良く輪投げを行っていました。また、久しぶりに合う仲間との会話が華がさき、会場から笑い声が消えることはありませんでした。

当日の上位入賞の団体・個人の方々を紹介いたします。

- 【団体の部】
- 優勝 林崎Aチーム
 - 準優勝 篠崎シニアクラブAチーム
 - 3位 八区八千代会Aチーム
- 【個人の部】
- 優勝 篠村 幸造氏（篠崎）
 - 準優勝 安達 松治氏（中町二）
 - 3位 大貫 和弘氏（八区）

このひとに聞く!

ふ だんの く ろしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



なかむら まりか
中村 茉莉佳さん (22歳・林)

プロフィール

中学生の頃から、ポスター等のデザインを
することに興味を持ち、高校・短大へと進学
し、知識・技術を高めていった。

卒業後、その技術を活かし、事業の宣伝・
広告等に携わる編集事務を行っている。

ジュニアリーダーズクラブ“スカイ”の初代
リーダーで、現在は、町民劇場の役者とし
て、日々稽古に励んでいる。

●町について思うことは

雫石町には、自分の住んで
いる地域をより住みやすい環
境にしたいという、住民の皆
さんの町おこしへの思いが溢
れていると感じています。

しかし、地域を動かす・行
動するとすると、仕事や地域
の関係性等から行動に移せ
ず、せっかくの素敵な思いを
胸の中に抱えたままにしてい
るように見えて、とてももっ
たいないと思います。

その思いを地域全体で出し
合いながら、良いところを伸
ばしていける地域性ができれ
ばいいと考えています。

●福祉について考えていることは?

雫石町で行われている多くの活動は、
全て町の福祉活動に繋がっていると思い
ます。一人暮らし高齢者世帯の見守りを
目的としたスノーバスターズ活動。また、
軽トラ市等の行事の開催も、高齢者の健
康増進や外出意欲の向上へと繋がってい
ると感じています。

私が携わっていききたいと思うことは、
高齢者と子ども達との交流の場を増やす
ことです。学生時
代に行ってきた、
ジュニアリーダ
ーズクラブ「スカイ」

の活動経験や仲間
を活かして、現在
活動している学生
たちの支援を行っ
ていきたいです。



町民劇場の稽古に励む中村さん!

寄付金

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成26年8月から12月までの間
に、寄せられた寄付について、お
知らせいたします。)

○二十五周年記念コンサート

しずくいし混声合唱団 様

269,162円

(福祉のために)

○中川愛子生前葬

チャリティーショー 様

200,000円

(福祉のために)

○(株)岩手互助センター取引協力会

岩手アルファ会

会長 古前田 譲二 様

50,000円

(福祉のために)

○よしやれの里雫石G・G

交流大会実行委員会 様

20,000円

(福祉のために)

社協新役員紹介

平成26年5月に開催された評議員
会において、新理事として、近藤秀
子氏(上町二行政区)の選任が承認
されました。また、当社会福祉協
会理事の改選があり、会長として目
時大堂理事、副会長として坂下悦雄
理事・佐々木正志理事が再任されま
した。



近藤 秀子 理事
(新任・上町2行政区)

編集後記

社協だよりが新しくなり、2
回目の発行となります。皆さん
にわかりやすい福祉情報が提供
できているでしょうか。
12月末日となり、今年ももう
すぐ終わりとなります。町の景
色は、すっかり冬に変わって、真っ
白な雪化粧がされています。
今年を振り返ってみると、私
たちは多くの町民の皆さん、関
係者の方々に支えられているな
と感じる一年でした。

(春)

○雫石町社協だより
●平成26年(2014年)12月25日

第75号

発行/雫石町社会福祉協議会

〒020-0541 岩手県岩手郡雫石町千刈田82番地2

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140
e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp
ホームページ: http://www.shisha.or.jp